



Top Message



株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2019年9月30日をもって、第72期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の中間期を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。

代表取締役社長
英 裕治
Hanabusa Yuji

当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり緩やかに回復しております。世界経済は、通商問題の動向が与える影響、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響など、不透明な状況です。

このような状況の中で当社グループは、音響機器事業のうち高級オーディオ機器事業は、日本発のNo. 1ハイエンドブランドとしての位置づけを国内外で高める努力を継続し、一般オーディオ機器事業は、中高級機を軸に据え、競合他社に比べ個性的な製品を創造し、更なる収益力向上を目指します。音楽制作・業務用オーディオ機器事業では、設備市場においてより広範囲なアプリケーションへ対応するべく製品ラインナップを更に拡充します。

情報機器事業においては、医用画像記録再生機器並びに計測機器は前期に引続き海外市

場への参入を進めてまいります。また、新製品の機内エンターテインメント用サーバーの販売を強化いたします。

当中間期におきましては、為替相場の変動の影響もあり売上収益は減少しました。前年同期では介護記録システム事業譲渡益があったことから営業利益については、前年同期と比較して減益となりました。親会社の所有者に帰属する四半期損失は、前年同期と比較して改善しました。なお、当第2四半期連結会計期間では、増益となり黒字化しました。

この結果、当社グループの当中間期の売上収益は68億2千5百万円(前年同期比3.1%減)、営業損失は8千1百万円(前年同期営業利益3百万円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失は1億8千5百万円(前年同期親会社の所有者に帰属する四半期損失4億4千1百万円)となりました。

通期の業績見通しについて

当社グループの業績の特性は、季節要因により、売上、利益とも第4四半期会計期間に集中する傾向があります。

2020年3月期の連結売上収益は165億円、営業利益4億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は2億円を予想しております。

全グループ社員一丸となって通期の業績見通しの達成に向け邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

連結業績ハイライト (国際会計基準)

	第70期 2018年3月期	第71期 2019年3月期	第71期(中間) 2018年9月期	第72期(当中間) 2019年9月期
売上収益	(百万円) 17,016	15,682	7,040	6,825
営業利益	(百万円) 330	601	3	△ 81
税引前当期利益	(百万円) 324	291	△ 269	△ 188
親会社の所有者に帰属する当期利益	(百万円) 249	51	△ 441	△ 185
基本的1株当たり当期利益	(円) 0.86	1.77	△ 15.31	△ 6.43
資産合計	(百万円) 10,285	9,316	10,007	10,015
資本合計	(百万円) 911	1,320	671	955

※当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、基本的1株当たり四半期利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

音響機器事業

62.2%

売上収益 **4,246 万円**
(前年同期比 7.6%減)

セグメント営業利益 **300 百万円**
(前年同期比 13.9%増)

高級オーディオ機器（ESOTERICブランド）は8月に上市したSACDプレーヤーの一体型フラッグシップモデルの販売が順調に推移し利益水準を押し上げました。また輸出は北米向けは堅調に推移しましたが、香港、韓国を含むアジアは現況を反映し前年同期と比較して低調に推移しました。全体としては前年同期と比較して全体としては前年同期と比較して減収、わずかに減益となりました。

一般オーディオ機器（TEACブランド）は、ターンテーブルカテゴリーが新製品や複合製品の復調で増収となりました。その他のフルサイズコンポ、Referenceカテゴリー、大手流通向けのOEMカテゴリーが昨年に比べ低調に推移し全体として減収となりましたが売上総利益率の改善及び更なる固定費の削減で増益となりました。

音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）は、BtoC事業において、ハンドヘルドレコーダーやオーディオインターフェースなど全般的に低調となりました。BtoB事業においては、設備用ソリッドステートレコーダーやライブレコーディングミキサーの販売が堅調となりました。国内において消費税増税前の駆け込み需要により販売が伸長した事、値引抑制の効果もあり、第1四半期会計期間の減収を補うまでには至りませんでした。当第2四半期会計期間では前年同期と比較して増収となりました。また、BtoB事業へのシフトにより利益率の高い製品の売上比率が向上したため売上総利益率は大きく改善しました。この結果、音楽制作・業務用オーディオ機器全体としては減収増益となりました。

- 高級オーディオ機器
- 一般オーディオ機器
- 音楽制作・業務用オーディオ機器

オリジナルブランド

ESOTERIC TEAC TASCAM

情報機器事業

33.4%

売上収益 **2,281 百万円**
(前年同期比 13.7%減)

セグメント営業利益 **158 百万円**
(前年同期セグメント営業利益 7 百万円)

航空機搭載記録再生機器は、海外顧客への出荷が好調に推移、また新製品の機内エンターテインメント用サーバーも主として海外顧客への出荷により増収となりました。

計測機器はデータレコーダーは堅調に推移、センサー関連は大手半導体製造装置メーカーへの出荷が好調に推移した事から、計測機器全体としては増収となりました。

医用画像記録再生機器は、新製品の消化器内視鏡向けレコーダーが好調に推移、また手術画像用レコーダーも好調を維持した事から医用画像記録再生機器全体では増収となりました。

ソリューションビジネスは、受託開発及びシステムインテグレーターへのPC販売が好調に推移し増収となりました。

一部海外販売子会社で継続している産業用光ディスクドライブは、需要減により減収となりました。

- 航空機搭載用記録再生機器
- 医用画像記録再生機器
- 計測機器 トランスデューサー
データレコーダー
- ソリューションビジネス
- 産業用光ドライブ

オリジナルブランド

TEAC

売上収益
6,825 百万円

前年同期比 3.1%減

その他事業

4.4%

売上収益 **298 百万円**
(前年同期比 31.9%減)

セグメント営業利益 **34 百万円**
(前年同期セグメント営業利益 20 百万円)

- EMS 事業

要約連結財政状態計算書

	当中間期	前期
	2019年 9月30日 現在	2019年 3月31日 現在
■ 資産		
流動資産	7,354	7,413
現金及び現金同等物	1,649	1,716
営業債権及び その他の債権	2,451	3,265
棚卸資産	2,998	2,079
その他の流動資産	256	353
非流動資産	2,661	1,904
有形固定資産	2,220	1,346
無形資産	186	209
その他の投資	27	131
繰延税金資産	42	29
その他の金融資産	151	152
その他の非流動資産	35	37
資産合計	10,015	9,316

Point 1 連結財政状態計算書

< 資産合計 >
棚卸資産・有形固定資産は増加、営業債権及びその他の債権の減少により、前期末と比較し、7.5%増加となりました。

< 負債合計 >
営業債務及びその他の債務・リース負債は増加、その他の流動負債・退職給付に係る負債の減少により、前期末と比較し、13.3%増加となりました。

(単位：百万円)

	当中間期	前期
	2019年 9月30日 現在	2019年 3月31日 現在
■ 負債		
流動負債	5,859	5,099
借入金等	2,724	2,522
リース債務	353	—
営業債務及びその他の債務	1,376	880
引当金	620	591
未払法人所得税	44	156
その他の金融負債	0	0
その他の流動負債	742	951
非流動負債	3,201	2,898
借入金等	117	234
リース負債	624	—
退職給付に係る負債	2,395	2,585
引当金	41	41
繰延税金負債	8	9
その他の非流動負債	16	29
負債合計	9,060	7,996
■ 資本		
親会社の所有者に帰属する持分	869	1,145
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	36	—
自己株式	△ 121	△ 121
利益剰余金	721	806
利益剰余金(IFRS移行時の累積換算差額)	△ 3,430	△ 3,430
その他の資本の構成要素	163	391
非支配持分	86	174
資本合計	955	1,320
負債及び資本合計	10,015	9,316

Point 2 連結損益計算書

< 営業利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益 >
為替相場の変動の影響もあり売上収益は減少しました。前年同期は介護記録システム事業譲渡益があったことから、営業収益は減益となりました。

Point 3 連結キャッシュ・フロー計算書

< 営業活動によるキャッシュ・フロー >
主な内訳は、プラス要因として、営業債権及びその他の債権の減少額790百万円、マイナス要因としては、四半期損失189百万円、棚卸資産の増加額967百万円です。

< 投資活動によるキャッシュ・フロー >
プラス要因として、投資有価証券の売却による収入100百万円、マイナス要因としては、有形固定資産及び、無形固定資産の取得による支出112百万円です。

要約連結損益計算書

	当中間期	前中間期
	2019年4月1日～ 2019年9月30日	2018年4月1日～ 2018年9月30日
売上収益	6,825	7,040
売上原価	3,793	4,102
売上総利益	3,031	2,937
販売費及び一般管理費	3,128	3,211
その他の損益	15	△ 17
個別開示項目前営業損失(△)	△ 81	△ 291
個別開示項目	—	294
営業損失(△)	△ 81	3
金融収益	1	1
金融費用	108	273
持分法による投資利益(△損失)	—	—
税引前四半期損失(△)	△ 188	△ 269
法人所得税費用	0	88
四半期損失(△)	△ 189	△ 357
四半期利益の帰属先		
親会社の所有者持分	△ 185	△ 441
非支配持分	△ 3	84

(単位：百万円)

要約連結持分変動計算書 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	利益剰余金(IFRS移行時の累積換算差額)	その他の資本の構成要素			
当期首残高	3,500	—	△ 121	806	△ 3,430	391	1,145	174	1,320
四半期包括利益									
四半期損失(△)				△ 185			△ 185	△ 3	△ 189
その他の包括利益						△ 128	△ 128		△ 128
四半期包括利益合計	—	—	—	△ 185	—	△ 128	△ 313	△ 3	△ 316
減資									
欠損補填									
利益剰余金から資本剰余金への振替									
自己株式の取得			△ 0				△ 0		△ 0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				100		△ 100			
自己株式の取得		36					36	△ 85	△ 49
所との取引額合計	—	36	△ 0	100	—	△ 100	36	△ 85	△ 49
当四半期末残高	3,500	36	△ 121	721	△ 3,430	163	869	86	955

※連結財務諸表の記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。



AP-505 ステレオパワーアンプ

ステレオ、バイアンプ、BTLの3つの駆動方式を切り替えることにより様々なセッティングが可能なパワーアンプ『AP-505』を2019年6月に販売開始いたしました。

『AP-505』は、コンパクトな筐体ながら、実用最大出力としてステレオ/バイアンプで130W+130W (4Ω)、BTL接続時には250W (8Ω) もの高出力を実現したステレオパワーアンプです。

パワーアンプ部には、オランダHypex社製NcoreにTEACによる音質チューニングを施した専用設計のモジュールを採用。モードの切り替えにより、1台でのステレオ動作に加え、2台使ったバイアンプ接続やハイパワー駆動が可能なBTL接続など、様々なセッティングに対応。

アルミ材が強固なスチール製のシャシーを覆った贅沢な筐体に、オーディオ機器としての存在感を主張する大型のレベルメーターを搭載。また、オリジナル構造の3点支持方式ピンポイントフットが音の輪郭を際立たせ、高分解能と音像定位の向上を実現しています。

TEAC

Grandioso K1X Super Audio CD Player

TWO REVOLUTIONS - INTEGRATED

エソテリックが16年ぶりに新しく設計したトランスポートメカニズムのVRDS-ATLASと、クロックドライバーやロジック回路、コンデンサーといった要素によって1チャンネルあたり32の元素で構成したMaster Sound Discrete DACの両方を搭載した一体型プレーヤー『Grandioso K1X』を9月に販売開始いたしました。

完全自社設計のディスクリットD/Aコンバーター『Master Sound Discrete DAC』は、ESOTERICのトップエンジニアチームがこれまでに培ってきた技術を賭け、集積チップでは実現することのできない吟味を重ねたディスクリット部品で回路を組み上げることで音楽の「躍動感」、「エネルギー」の完全なる再現を目指しました。

エソテリックは11月にホームページをリニューアルいたしました。 <https://www.esoteric.jp/jp/>



ESOTERIC



MV-1 内視鏡イメージレコーダー

『MV-1』は、これまで30年以上の長きに渡り医療現場に製品を提供してきた「MVシリーズ」に製品デザインを一新し、新たな機能を追加したティアックの新しい内視鏡イメージレコーダーです。

MVシリーズで培った消化器内視鏡との高い連携性能はそのままに、タッチスクリーンの新規採用により、視認性と操作性が格段に向上、消化器の検査中に患部を撮影するための静止画像記録はもちろん、ESDなど検査途中でを行う処置の過程を記録したいというニーズにお応えするため、大容量の内蔵HDDを搭載し、1080p 60fps Full HDによる動画記録にも対応しています。

これからも、日々進歩するテクノロジーを捉え、医療現場のニーズを実現すると共に、これまで培った技術をさらに磨き上げることで、医療現場へ『記録』の利便性を提供していきます。

TEAC



VS-R265 / VS-R264

ライブストリーミング用AV Over IP エンコーダー / デコーダー

ライブストリーミング用AV Over IPエンコーダー / デコーダーの新製品『VS-R265』および『VS-R264』を2019年7月に発表しました。

本製品は、映像のエンコード、デコード、ストリーミング、録画を同時に行える、オールインワンの映像配信機器です。専用機器ならではの安定した動作で、長時間の運用においても高品質配信を実現します。

YouTubeやWowzaStreaming Engine、WowzaStreaming Cloud、DaCastなどの動画配信サービスに対応。プレゼンテーションやライブパフォーマンスの配信、議会のインターネット中継、オンライントレーニングシステム、駅の構内やホテルのロビーのデジタルサイネージシステムなど様々な用途でご使用いただけます。

オランダアムステルダムで開催されたISE(Integrated System Europe)2019では、rAVePublicationsより「Best of ISE 2019」を受賞。HDまたは4Kでのビデオストリーミングデバイスとして、あらゆる分野での活用が期待されるとの評価をいただいています。

TASCAM.



SERIES 102i / SERIES 208i

高品質で拡張性に優れたTASCAMの新しいオーディオインターフェース

2019年7月、業務用オーディオブランドとして40年以上に渡り培われてきたオーディオ設計のノウハウを惜しみなく投入したUSBオーディオ/MIDIインターフェースの新製品『SERIES 102i』および『SERIES 208i』を発売いたしました。

24bit、192kHzのハイレゾ録音をサポートするSERIESオーディオインターフェース・シリーズはMac、Windows、およびiOS機器に対応。これまでTASCAMが培ってきたオーディオ性能を大幅に強化しました。

さらに、iZotope社とのコラボレーションにより、同社のNeutron Elements ミキシングソフトウェアのバンドルを追加。プロ品質の音楽制作を行う様々なユーザーへの合理化されたより良いワークフローソリューションの提供が強化されました。

TASCAM.

会社の概要

商号 ティアック株式会社
(TEAC CORPORATION)
本社 〒206-8530
東京都多摩市落合一丁目47番地
設立 1953年8月26日
資本金 35億円
事業年度 4月1日～翌年3月31日
代表者 代表取締役社長 英裕治
従業員数 単体243名 連結668名

●国内拠点

ティアック株式会社
本社 [東京都]
EMCセンター [埼玉県]
大阪営業所 [大阪府]
名古屋営業所 [愛知県]
エソテリック株式会社 [東京都]
ティアックマニュファクチャリングソリューションズ株式会社 [東京都]
ティアックカスタマーソリューションズ株式会社 [埼玉県]
ティアックオンキヨーソリューションズ株式会社 [東京都]

●海外拠点

TEAC AMERICA, INC. [米国]
TEAC EUROPE GmbH [ドイツ]
TEAC UK LTD. [英国]
TEAC SALES & TRADING (ShenZhen) CO., LTD. [中国]
TEAC AUDIO (CHINA) CO., LTD. [香港]
DONGGUAN TEAC ELECTRONICS CO., LTD. [中国]

当社ホームページのご案内

当社は、ニュースリリースや決算発表資料などを、自社ホームページに掲載しています。

<https://www.teac.co.jp/jp/>

投資家向け情報



役員

代表取締役社長 英 裕 治
取締役 野 村 佳 秀
取締役 Henry E. Juskiewicz
取締役 David Berryman
取締役 James Robert Curleigh
取締役 Kimberly Suzanne Mattoon
取締役 John Alexander Campbell
取締役 Bryan David Follis
取締役(監査等委員) 吉 村 邦 彦
取締役(監査等委員) 原 琢 己
取締役(監査等委員) 坂 口 洋 二

株式の状況

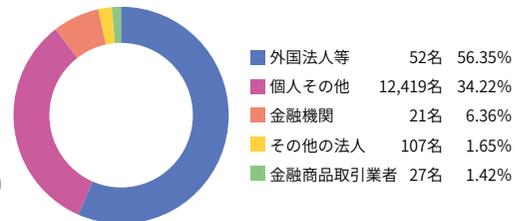
発行可能株式総数 …… 40,000,000 株
発行済株式の総数 …… 28,809,897 株 (自己株を除く)
株主数 …………… 12,626 名

大株主 (上位10名)

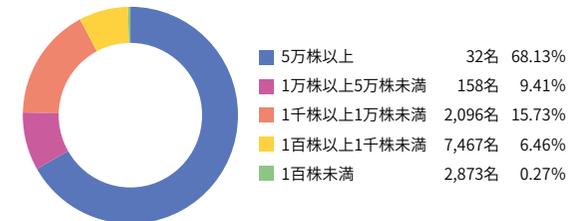
株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
Gibson Holdings, Inc.	15,745	54.65
株式会社三菱UFJ銀行	343	1.19
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	316	1.10
オンキヨー株式会社	289	1.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	284	0.98
東京海上日動火災保険株式会社	201	0.70
安藤 収	200	0.69
佐野 弘長	191	0.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	168	0.58
BNY FOR GCM RE GASBU	149	0.52

(注) 持株数は表示単位未満を、出資比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。
(注) 持株比率は、自己株式(1,203,475株)を控除して計算しております。

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日 3月31日
単元株式数 100株
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <https://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に公告します。)

【株式事務に関するご案内】

- 各種お手続きのお問合せ窓口について
株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きについて
特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取請求のご案内

単元未満株式(100株に満たない株式)については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却していただくことができます。
当社は、単元未満株式の買取請求に係る当社手数料を無料(注)としておりますので、本制度のご利用をご検討くださいますようお願い申し上げます。
(注) 無料となる手数料は当社に係る手数料です。証券会社等において取次手数料等がかかる場合もあります。

- 証券会社等の口座でご所有の株主様
お取引のある証券会社等にお問合せください。
- 特別口座でご所有の株主様
(証券会社等にお取引口座がない株主様)
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (TEL 0120-232-711 (通話料無料))にお問合せください。

例：
株主様が10株をご所有の場合



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地
TEL 042-356-9100 (代表)
ホームページアドレス <https://www.teac.co.jp/jp/>